

参加チーム 各位

2016年9月9日
(一社)大阪府サッカー協会フットサル委員会

第22回全日本フットサル選手権大会 大阪大会

大会要項

記

| | |
|------|---|
| 大会名称 | 第22回全日本フットサル選手権大会 大阪大会 |
| 日 程 | グループリーグ : 9月25日(日) 10月22日(土) 10月23日(日) 決勝トーナメント : 10月23日(日) 10月30日(日) 11月5日(土) 11月6日(日) 11月26日(土) |
| 会 場 | グループリーグ : キンチョウスタジアム北練習室 堺市立原池公園体育館 大阪市立千島体育館 決勝トーナメント : 高槻市立古曽部防災公園体育館 高槻市立総合体育館 大阪市立千島体育館 大阪市立東淀川体育館 |
| 主 催 | 公益財団法人 日本サッカー協会 |
| 主 管 | 一般社団法人 大阪府サッカー協会フットサル委員会 |
| 協 力 | 一般財団法人 日本フットサル連盟 大阪府フットサル連盟 |

参加資格

- (1) 公益財団法人日本サッカー協会(以下、「JFA」とする。)に「フットサル1種」または「フットサル2種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。
JFAに承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。
- (2) 第1項のチームに所属する2001年4月1日以前に生まれた選手であること。
男女の性別は問わない。
- (3) 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
- (4) 選手及び役員は、本大会において複数のチームで参加できない。
- (5) 成人で、チームおよびチーム関係者の行動を掌握できる、引率者がいること。
- (6) チームまたは個人でスポーツ傷害保険に加入していること。

参加チーム数 32 チーム

大会形式

- (1) グループリーグ：シードチーム8チーム（昨年度成績上位チーム）を除く参加24チームを3チームずつ8グループに分けてリーグ戦を行い、各グループ1位の8チームが決勝トーナメントへ進出する。勝点は、勝ち3、引分け1、負け0とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。
- ① 当該チーム内の対戦成績
 - ② 当該チーム内の得失点差
 - ③ 当該チーム内の総得点数
 - ④ グループ内の総得失点差
 - ⑤ グループ内の総得点数
 - ⑥ 下記に基づくポイント合計がより少ないチーム
 - (ア) 警告1回 1ポイント
 - (イ) 警告2回による退場1回 3ポイント
 - (ウ) 退場1回 3ポイント
 - (エ) 警告1回に続く退場 4ポイント
 - ⑦ 抽選
- (2) 決勝トーナメント：1次ラウンド各グループ1位の8チームに、シードされた8チームを加えた16チームによるノックアウト方式で行う。

競技規則

大会実施年度の「フットサル競技規則」による。

競技会規定

- (1) 競技者の数…競技者：5名、交代要員：7名以内
ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数…2名以内
- (2) チーム役員の数…3名以内
- (3) 競技者の用具
 - ① ユニフォーム
 - (ア) フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ストッキング)を大会登録票に記載し、各試合には正副ともに必ず携行すること。また、ゴールキーパーがトラウザーズを着用する場合、登録されたショーツと同一の色彩でなければならない。
 - (イ) チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が着用する黒色と明確に判別しうるものでなければならない。
 - (ウ) フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
 - (エ) シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。

- (オ) 選手番号は1から99までの整数とし、0は認めない。1番はゴールキーパーがつけることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
- (カ) ユニフォームへの広告表示については、JFAの承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。
- (キ) その他、ユニフォームに関する事項については、JFAのユニフォーム規程(2016年4月1日施行)に則る。ただし、今回の規程で追加・変更となった内容のうち、以下は2019年3月31日まで旧規程による運用を許容する。

第5条〔ユニフォームへの表示〕 ※該当のみ抜粋

GK グローブ・キャップへのチーム識別標章・選手番号・選手名の表示・両肩・両脇・両袖口・両腰脇・両裾に表示できる製造メーカーロゴマークの幅(10cmから8cmに変更)・同一の製造メーカーロゴを帯状に配置する場合のロゴマーク間の距離

② 靴

キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が紺色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの。

(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない。)

③ ビブス

交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。

試合時間

[グループリーグ]

30分間(前後半各15分間)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは5分間(前半終了から後半開始まで)とする。

[決勝トーナメント]

40分間(前後半各20分間)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは10分間(前半終了から後半開始まで)とする。

勝者の決定

試合時間内に勝敗が決しなかった場合、試合の勝者は以下の方法で決定する。

[グループリーグ]

引分け

[決勝トーナメント1回戦、準々決勝]

PK方式により勝敗を決定する。PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。

[準決勝、決勝]

10分間(前後半各5分間)の延長戦を行い、決しない場合はPK方式により勝敗を決定する。延長戦に入る前のインターバルは5分間とし、延長戦のハーフタイムはなしとする。PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。

懲罰

- (1) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。それ以後の処置については、本大会規律・フェアプレー委員会で決定する。
- (2) 本大会において退席を命じられた役員は、自動的に本大会の次の1試合にベンチ入りできない。それ以後の処置については、本大会規律・フェアプレー委員会で決定する。
- (3) 本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。(グループリーグで受けた警告は、決勝トーナメントには持ち越さない。但し、グループリーグ最終試合で2回目の警告を受けた場合、決勝トーナメント1試合目には出場できない。)
- (4) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (5) 片方のチームが試合開始時に3人未満の場合は、0-3の不戦敗とする。
- (6) 試合途中で片方のチームが3人未満になった場合や、その他の理由で試合が打ち切りとなった場合は0-3、もしくは打ち切りとなった時点で0-3以上の点差がついていた場合はその結果とする。

注意事項

- (1) 各日程、第一試合のチームは、8時45分までに会場に到着し会場準備を行うこと。また、最終試合のチームは会場撤収を行うこと。
- (2) キックオフ予定時刻の60分前、(各会場の第一試合は45分前)に、大会運営本部または大会運営委員会指定の場所でマッチコーディネーションズミーティングを行う。その際、①選手証、②試合毎のメンバー登録用紙(ユニフォーム欄のみ空白)、③正副のユニフォーム(FP、GK2セットずつ、合計4種類)を持参すること。
- (3) ユニフォームに広告を掲示している場合は、JFAから発行された回答書および申請書を携帯すること。
- (4) ユニフォームに貼り番号をする場合は、キックオフまでに大会運営本部で確認をとること。番号は整数の1から99を使用し、0は認めない。布貼りの場合は4辺を全て縫い付け、大会本部で許可を得たもののみ認められる。テープングでの番号表記は認められない。
- (5) 別紙スケジュールに従い、グループリーグと決勝トーナメント1回戦において帯同審判員1名とボールパーソン2名を派遣すること。準々決勝、準決勝は記録員1名とボールパーソン2名を派遣すること。審判員は、原則ユース審判員は認められない。また、帯同審判員の所属は必ず大阪府でなければならない。
※1人の審判員を複数チームが帯同審判員として登録することは認められない。
- (6) 試合中に飲めるのは水のみとする。その他の飲料はフロア近辺に持ち込まないこと(観客席に置いておくこと)。飲水場所は体育館の使用規定に従うこと。
水以外の飲み物を持ち込んだチームについては、それまでの戦績を没収し、棄権の取り扱いとする。また、次年度の本大会の参加を認めない。
- (7) ベンチ入りする役員は、キックオフ予定時刻の30分前までに、運営本部にてADカードを受け取り、試合中は常にADカードを提示していなければならない。ADカードは試合終了後、速やかに運営本部へ返却すること。

- (8) ベンチでの氷のう袋の使用を認める。ただし、ビニール袋など水滴が周りに漏れるものは、飲水場所での使用のみとする。また、その使用により床やシートを濡らした場合は会場のモップを使用せず自チームで用意したタオル等で拭き取ること。

その他

- (1) 優勝・準優勝チームは、関西大会(2017年1月9日(月祝):大阪市中央体育館、1月14日(土):西宮市立中央体育館、1月22日(日):西宮市立中央体育館)に出場する権利と義務を有する。
- (2) 優勝チームと準優勝チームを表彰する。
- (3) 次年度のシードについては未定とし、実施要項が確定次第シードチームに順次連絡する。
- (4) なお、決勝トーナメントに進出したチーム(8チーム)および決勝トーナメントで勝利したチームについては、試合当日、試合毎に5,000円徴収する。
- (5) 代表者会議以降の大会登録票の選手や役員の追加や変更は原則認めない。

お問合せ先

(一社)大阪府サッカー協会フットサル委員会

メールアドレス：info@ofa-futsal.jp

※各種お問合せはメールにて受け付けます。